

## 園芸農家の皆様へ

### 台風シーズンの到来に伴う農作物等の技術対策について

台風シーズンに入り、今後、暴風や大雨による影響が懸念されますので、下記対策について、あらかじめ確認・備えをお願いします。

また、農地や施設の見回りについては、気象情報を十分に確認し、暴風や大雨等危険な状況が収まるまで行わないなど、人命を最優先に行動しましょう！

## <施設等>

### 事前対策

- ビニールハウスの被覆資材を、押さえのバンド、スプリングやパッカー、防風ネット等でしっかり止める。特に風当たりが強い外側の棟などを補強する。
  - ▶ 被覆資材が新しい場合には、ハウス内に風を入れないように努める。
  - ▶ 被覆資材が古くなっている場合、被覆材が破れ始めると風をはらんでハウスが倒壊しやすくなる。骨材の保護のため、事前にビニール等を破った方が、被害が少なくなる場合もある。
- 出入り口等の開口部は閉めて、しっかりと固定する。出入口の戸車、レールのはずれがないか確認しておく。
- 破損がある場合は、早急に補修する。間に合わない場合は、中身を安全な場所へ移す。中に作物がある場合は、べた掛け等で風雨に備える。
- 風で物が飛ばされないよう、ハウス周辺を片付ける。また、排水状況を確認し、排水溝の整備に努める。
- 施設内に浸水しないよう、トイの落葉やごみを取り除いておく。
- 停電に備えて、天窓の開閉用のチェーンやサイド巻上げ用として、充電式ドリル等の操作器具を準備しておく。

### 事後対策

- 破損した場合は、速やかに補修を行う。
- 施設周辺に湛水している場合は、速やかに排水溝を掘り、排水に努める。
- ハウス内に雨水が流入した場合は、できるだけ速やかに排水し、水が引いた後に、ベッドを整形するとともに中耕する。

- ハウス内に雨水が流入する等により、内部が多湿になって病気が発生しやすくなるので、防除指針に従い殺菌剤を散布する。
- 根の活性が低下するなど薬害が発生しやすい状態にあるので、希釈倍率を適用範囲内の薄い濃度にしたたり、日中高温時の散布を避け早朝に散布するなど、注意する。

### なお、停電の場合は

停電により断水し、水の確保が困難になったら…

農政センター内で井戸水を提供しますので、ご連絡ください

●対応時間:午前9時～午後5時

●連絡先:千葉市農政センター 農業生産振興課 技術振興班  
電話 043(228)6280

## <露地野菜>

### 事前対策

- 排水の悪いほ場では、あらかじめ排水溝などの整備をして、冠水や滞水に備える。
- 茎葉の被害により大きな減収や品質低下が予想される野菜では、
  - ▶ あらかじめ土寄せを行う。
  - ▶ 畝の両サイドに支柱を立ててひもを張り、倒伏防止を図る。
  - ▶ 支柱強度や結束部分を確認して弱い部分は補強をする。
  - ▶ 防風網や不織布などでべたがけをして茎葉や果実の傷みを防ぐ（資材が飛ばされないように注意し、台風通過後は速やかにはがす）。
- キャベツ、ブロッコリー等の苗や葉物類及びダイコンは、通気性の良い寒冷紗や不織布をべたがけした上、浮き上がらないようしっかりと杭止めし、はがれないようにする。

### 事後対策

- 速やかにほ場の排水を図る。
- 栽培中の作物には、防除指針に従い殺菌剤を散布し病気の予防に努める。  
根の活性が落ちるなど、薬害が発生しやすい状態にあるので、希釈倍率を適用範囲

- 内の薄い濃度にしたり、日中高温時の散布を避けて早朝に散布するなど、注意する。
- 栽培中の作物では、土壌の表面が乾いてきたら、追肥用化成などを用いて追肥を行い、軽く中耕を行うことにより、生育の回復を促す。
  - ネギが倒伏した場合は、丁寧に起こす。
  - コカブ・コマツナ等で発芽前の種子が流されたり、発芽直後で損傷の激しい場合は、速やかにまき直しを行う。
  - 冠水したほ場のサツマイモは、掘り上げた後、軒下等に仮置きし、腐敗や傷みがないか確認してから出荷する。
  - キャベツ、ブロッコリーは追肥・中耕を行う。

## <果樹>

### 事前対策

- 多目的防災網の設置の有無にかかわらず、棚の所々に振れ止めを設置する。  
(事前にブロック、肥料袋に土を入れる、等の重石を園内に準備しておく。)  
棚から針金などたらし、重石をつけて棚が振れないようにする。
- 多目的防災網を設置してある園では、押え紐や控え紐(網が風で飛ばされないように、所々に網から引いてある紐)の補強を行う。
- 主枝、亜主枝、側枝を棚へ結束する。
- 排水条件の悪い園では滞水しないよう整備する。

### 事後対策

- 樹が倒伏したものは無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せして支柱を立てる。
- 園の排水に心がけ、滞水した場合は速やかに排水を図る。
- 多目的防災網の防風ネットが破損した園では、ただちに修理し、次の災害に備える。
- 収穫期を控えた果樹に農薬散布を実施する場合は、特に収穫前使用日数に注意する。

## <花き>

### 事前対策（露地花き）

- 排水の悪いほ場ではあらかじめ排水溝などの整備をして、冠水や滞水に備える。
- 支柱の打ち増しやフラワーネットの点検・補強を行う。
- 小ぎく・アスター・けいとう・ひまわりなど、茎葉の被害により大きな減収や品質低下が予想される花きでは、防風ネットを張る。

特に、定植直後のキンセンカ等は、寒冷紗や不織布をべたがけする。

### 事後対策

- 施設栽培では、台風直後の強光、高温による日焼け症（葉焼け、芽焼け）を生じやすいため、適切な遮光、かん水により予防に努める。
- 破損被害を受けた温室内に生育途中の作物がある場合は天候の回復に合わせて遮光を行い、ダメージを軽減するとともに、病害予防のため薬剤防除を行う。
- 風により折れた枝や株は整理し、倒伏した切り花類は枝の曲がらないうちに無理のない範囲で早く立て直し土寄せする。
- 数時間滞水した苗物や鉢物は、その後乾燥ぎみに管理する。また、多湿により病気が発生しやすくなるので、防除指針に従い殺菌剤を散布する。
- 育苗中のものや定植直後のもので冠水被害を受けた場合、速やかに汚れを洗い流し、回復に努める。なお、回復の見込みがない場合は、除去し、苗があれば定植し直すか、再度播種準備を行う。

## 停電の発生に備えましょう！

**発電機・燃料等の準備と動作の確認、手配方法を事前に検討してください！**

《参考送付資料》

- 1 一般社団法人 日本建設機械レンタル協会 東京支部名簿・・・次ページに添付  
\* 発電機のレンタルが可能な業者名簿です。（事前の手続きが必要）  
各事業者にお問い合わせいただき、確保に努めてください。
- 2 千葉市内給油所一覧・・・次ページに添付  
\* 千葉県石油組合に所属している業者名簿です。  
取り扱いの詳細は、各給油所にお問い合わせください。